

崇高である。たとへ其の表現形式に相違があるとも、其の労働が眞摯であり、國家に寄與するものである限り神聖であるのだ。此の名譽ある武士道的労働觀を以て、眞に一億一丸となり、未曾有の重大難關を突破しなければならぬ。敢て獨逸の如き義務の制度を要望するの必要はなく、制度の存否に拘らず、光輝ある皇國の歴史に對し、崇敬する吾等が祖先に對し、有難い皇國のために大東亞戰爭の輝しい勝利を獲得するために、擧つて努力を捧げようではないか。

附言

以上拙文ながら、要するところは、道路の維持を通じて、物資

道路工夫の選奨

の活用と、努力の圓滑なる獲得とを強調したつもりである。就中努力の提供に關しては、特に諸賢の指導的力を必要とするものである。

をりをりは あそぶいとまはある人の

いとまなしとて文讀まぬかな

遊ぶ暇のある人は現下にない筈ではあるが、案外、手近に、容易に提供し得る努力があるかも知れない。又、たとへ餘裕がないとしても、戰爭に勝つためには、是が非でも、努力の檢出を圖らなければならぬ。(昭和十六年暮)

本縣道路の延長は國道百八十二籽府縣道三千五百五十六籽にして之が修繕費は本年度豫算五十七萬九千餘圓一籽當百五十五圓なりとす、而して道路工夫三百餘名を之に配屬し専ら維持修繕に當

福岡縣土木部長

らしめつゝありと雖も交通量の増加に伴ふ道路の破損甚しきに對し一日の安逸を許す能はず即ち昭和二年以來各市町村毎に道路愛護に關する映寫會等を開催せしめて愛護心の鼓舞涵養に努むると

共に毎年一回全縣下に互りて一齊に或は各土木管區毎に道路變遷日を定め一般縣民をして修理作業に奉仕せしめ、その成績顯著なる各種團體學校私人に對しては感謝狀等を贈りて道路の改善上著々其の効果を收め居れり。

今や我帝國は大東亞戰爭の眞只中にして古今未曾有の重大時局に遭遇し一億一心聖戰の目的完遂を期せざるべからざるの秋道路の利用は益々廣汎となり道路の維持保全は愈々緊要となるを痛感す道路報國の第一線に立ち孜々として倦まず其の職域に精勵しつゝある道路工夫の一舉一動は其の及ぼす影響蓋し尠少なからざるは今更喋々を要せざるところにして道路改良會に於ては夙に道路法實施十周年記念として本縣より二名を表彰せられ近く紀元二千六百年には恰も道路法實施二十周年記念として又々二名の表彰者を出すありて其の榮譽は一般工夫の督勵となり益々自重各々其の職責に向つて邁進するの傾向を招來し寔に喜ばしき現象なりとす。

本縣に於ても夙に之が賞揚の必要を認めたりしが昭和十六年度愈々此の途を拓き一月二十日を卜し縣廳内會議室にて第一回道路工夫選獎式を舉行するを得たり其の選定に關しては工夫の凡ゆる方面より觀察し成績最優秀なる者より

- 一等賞 二名 (賞金各參拾圓)
- 二等賞 十四名 (賞金各貳拾圓)
- 三等賞 十四名 (賞金各拾圓)

説苑

を嚴選し右選獎者合計三十名の外尙道路工夫百五十名をも參列せしめ其の他縣會議長、福岡市長、縣町村長會長、縣參事會員、縣政記者、土木建築時報社長、縣廳内各部課長、各土木事務所長等百餘名の來賓ありて式場を滿せり。

午前十一時一同着席先づ儀禮の後選獎狀並賞金を授與す、知事告辭、福岡縣會議長、福岡市長、縣町村長會長等の祝詞、受賞者總代の答辭ありて午前十一時五十分嚴肅裡に閉會式それより一同食堂に入り沖野總務部長來賓を代表して工夫に對する激勵の辭を述べ和氣譚々として午餐を共にしたる後記念撮影をなし午後一時散會す。

選獎者氏名並告辭、祝辭、答辭寫左記の如し。

第一回道路工夫選獎者一覽表

管區 等級		一等賞	二等賞	三等賞
福岡		飛永 千造	松島 清市	
久留米		柳原淺太郎	岩橋熊次郎	
柳河		松石與三郎	梅崎 繁信	
直方		久門 善六	本田 益次	
行橋	神	長吉	城戸 郷三	
前原		小柳 藤太	新原 爲基	

甘木

立石福次郎

岩田 又平
後藤 久

福島

野中 松藏

本田 久

折尾

江崎 半七

吉村 藤吉

小倉

岩田秋太郎

鶴我 千吉

伊田

米丸 四郎

田尻淺次郎

飯塚

小野山乙吉

一木善兵衛

箱崎

松尾 正吉

大牟田

山下清太郎

八屋

森永竹三郎

柏原 孫市

計

二名

十四名

告

辭

本日茲ニ第一回道路工夫選奨式ヲ舉行スルニ當リ多數來賓ノ御臨

席ヲ忝ウシタルハ洵ニ感謝ニ堪ヘザル所デアリマス

凡ソ道路ハ陸上交通機關トシテ各方面ニ分布シ地方文化ヲ表徴ス

ルト共ニ經濟活動ノ推進力トシテ之ガ施設ノ充備ハ直接ニ交通運

輸ノ便益ヲ増進シ文化産業ノ開發ニ資スルコト極メテ甚大デアリ

マス

今ヤ我邦ハ大東亞戰爭ノ眞只中ニアリマシテ各般ノ生産力ヲ擴充
シ銃後鐵壁ノ備ヘニ邁進スベキノ時デアリマス就中輸送陣ノ根幹
タル道路ノ整備ハ其ノ最モ大切ナル部分デアルコトヲ痛感スルノ
デアリマス
本縣道路ノ改良及其ノ維持ニ就イテハ改築鋪裝或ハ待避所排水設
備其ノ他局部の改良又ハ砂利道ノ修理等種々ナル方途ヲ講ジ之ガ
維持保全ニ努メ居ル次第デアル然シ乍ラ何レモ極メテ多額ノ經費
ヲ要シ常ニ完全ナル道路ノ維持管理ハ眞ニ容易ノ業ニアラズ之ガ
爲諸君ハ寒風雨雪ヲ厭ハズ第一線ニ立チ孜々トシテ之ガ修理保全
ニ克ク本分ヲ發揮シ漸次本縣道路ノ向上ヲ見ツ、アルハ洵ニ慶賀
ノ至リデアリマス
茲ニ於テ諸君ノ勞苦ヲ慰ムルノ一助トシテ特ニ技能卓拔成績優秀
ナル者三十名ニ對シ選奨狀ヲ授與スルコトニ致シマシタ諸君ハ此
ノ榮譽ヲ荷ハレマシテ寔ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアル受賞者ハ
勿論ノコト其ノ選ニ入ラザル諸君ト雖モ選奨ハ僅カノ努力ノ差ニ
過ギナイノデアリマスカラ今後一段ト奮勵ヲ續ケラレマシテ明年
ハ是非共此ノ榮冠ヲ克チ得ラレマス様致サレタイノデアリマス尙
來賓ノ方々ニ於カレマシテモ今後一層之等ニ對シ御後援ヲ賜ハラ
ムコトヲ切ニ希望致シマス
殊ニ大東亞ノ建設ハ前途尙遠幾多ノ時艱ヲ覺悟シ之ヲ克服スベ
キデアリマシテ國民ト共ニ各位ノ職責ハ更ニ重大サヲ加ヘントス
ルノデアリマスカラ今日ノ榮冠ヲ胸深ク印シ同僚相率キテ將來一
層道路保安ニ最善ヲ盡シ國民幸福ノ増進ニ努メ職域奉公ノ誠ヲ捧

ゲラレムコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス一言所懐ヲ述ベ
マシテ告辭ト致シマス

昭和十七年一月二十日

福岡縣知事從四位勳三等 本 間 精

祝 詞

本日茲ニ道路工夫ノ選奨式ヲ舉行セラル、ニ當リ祝意ヲ表スルハ
最モ欣幸トスル所ナリ

惟フニ本縣ハ西日本ニ於ケル産業都市トシテ將又大陸發展ノ門戶
トシテ商工鑛業ノ進展殷盛ヲ極メ特ニ國防上最モ樞要ナル地位ニ
在リ而シテ縣内道路ノ現狀ハ國道縣道共克ク完備シ之ガ維持修理
ニ熱誠ナル從業者諸士ノ努力ハ寔ニ感激ニ堪ヘサルモノナリ
今ヤ國家ハ即戰態勢ヲ確立シ舉國一致難局打開ニ邁進スベキノ秋
一層道路ノ維持修理能力ノ充實ヲ圖リ職域奉公ノ誠ヲ致サレムコ
トヲ切望ス 聊カ所懐ヲ述ベテ祝詞トス

昭和十七年一月二十日

福岡縣會議長 添田雷四郎

答 辭

本日茲ニ知事閣下並ニ貴顯各位ノ御臨席ヲ忝フシ第一回道路選奨
式ヲ擧ゲラル、ニ方リマシテ私共僚友三十名ニ對シ選奨狀及賞金

說 苑

ヲ授與セラレ且ツ御懇篤ナル御訓示ヲ賜リマシタコトハ洵ニ身ニ
餘ル光榮ト存ジマス之全ク上司ノ御懇切ナル御指導ト同僚各位ノ
一方ナラザル御庇護ノ賜ニ外ナラスノデアリマシテ衷心感謝ニ堪
ヘヌ次第デアリマス私共ハ何等練達ノ技能ヤ豊富ナ經驗ヲ持ツモ
ノデハアリマセンガ時局下各種生産力ノ擴充ニ將又地方文化ノ向
上ニ道路ノ持ツ重要ノ使命ハ能ク承知シテ居ルノデアリマス幸ニ
惠マレタ健康ヲ保ツテ今後一層精勵努力職域奉公ニ精進シマシテ
本日ノ榮譽ニ酬ヒタイ覺悟デアリマス一同ニ代リマシテ謹デ答辭
ヲ申上マス

昭和十七年一月二十日

選奨者總代

行橋管區

神 長 吉

